

第37期（令和5年度）事業計画書

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

令和5年度の当社の経営状況は、

3年続いた新型コロナウイルスは、本年5月8日から感染防止法上の2類から5類に移行することになって活動規制が緩和されました。

団体旅客も少しずつ増えて緩やかな利用回復が見込まれます。

国の経営支援事業を活用してパンフレットを作製しツーリングやサイクリストの集客を図っています。

輸送量、収入共にコロナ前の水準に近づくことを期待しています。

経費につきましては、原油価格がロシアのウクライナ侵攻が長期化していること
によって高止まりしたまま推移しており燃料油の値下がりが期待できません。

新型コロナの影響による世界の物流の停滞は緩和されてきましたが、国内では全
ての商品が値上がりしており本年度も費用の増加が見込まれます。

フェリー1隻での運航になっておりますが、必要不可欠な生活福祉航路として安
全運航を徹底し、その運営に最大限の努力を傾注いたします。

第37期(令和5年度)予算

単位:千円

科目			5年度予算	備考	4年度決算
海運業収益	運賃収入	旅客運賃他	61,097	前年同額で見込む	61,097
海運業費用	運航費	燃料費	37,201	5年4月分で見込む	38,629
		代理店料含む港費	9,263		9,263
		その他運航費	4,223		4,232
	船費	船員費	42,448	5年4月分で見込む	44,263
		船用品費	1,350		1,603
		船舶修繕費	6,450		7,206
		船舶減価償却費	38,594		38,594
		その他船費	2,918		3,959
	海運業費用合計			142,447	
一般管理費	一般管理費	役員報酬	5,760		5,760
		人件費(業務委託費)	4,920		4,920
		その他管理費	1,945		2,234
	一般管理費合計		12,625		12,914
営業損益			▲ 93,975		▲ 99,566
営業外	営業外収入		305		3,006
	営業外費用	支払利息	2,526	JRTT支払利息	3,515
経常損益			▲ 96,196		▲ 100,075
特別損益	特別損益	助成金収入	100,075	前年経常損失額計上	95,458
税引前当期損益			3,879		▲ 4,617